

地域協議会等連絡調整会議委員研修会（第2次総合計画中間案の説明）結果概要

- 1 日 時 平成25年2月1日（金） 19:00～20:30
- 2 場 所 市立図書館 中会議室1・2
- 3 出席者 地域協議会等連絡調整会議 委員37名
 - ・地域づくり協議会 (委員11名)
 - ・表郷地域協議会 (委員6名)
 - ・大信地域協議会 (委員10名)
 - ・東地域協議会 (委員10名)市地域支援課 飯泉 課長、松本 主任主査兼地域支援係長
表郷庁舎総務課 菊地 課長、宮澤 主幹兼課長補佐
大信庁舎総務課 金沢 課長、鈴木 主任主査兼総務係長
東庁舎総務課 鈴木 課長、岡崎 主幹兼課長補佐
企画政策課 邊見 課長補佐、仁平 主任主査、星 副主査、石川 副主査
- 4 次 第
 1. 開 会
 2. 会長あいさつ
 3. 研修会
 - (1) 第2次総合計画中間案についての説明
 - (2) 質問・意見等
 4. その他
 5. 閉 会
- 5 説明資料（事前配付）
 - ・第2次総合計画中間案の概要（パワーポイントにより説明）
 - ・基本構想中間案
 - ・基本計画中間案

【質疑応答】

■表郷地域協議会 三好委員

- ・このような広範囲な計画を短期間で策定するのは大変であると思う。事前に資料が配布されたので、目を通してきたが、これはもう中間案ではなく、4月から実施することを前提とした内容となっている。
- ・いくつか気になる部分はあるが、表現を見ても施策との整合性が取られているので全体的には問題ないと思う。

- ・ 将来像は、まだ決定をみていない。まちづくりの理念を見れば、大よそ分かるが、この将来像が大事である。コンパクトな表現で十分に練り上げて欲しいと思っているが、どのような内容となるのか。
- ・ 市民、各団体への周知が大切であるので、具体的には、どのように行っていくのか。
- ・ 総合計画を具現化していく必要がある。施策の方向性、成果目標が決まれば、目標値を設定して、それに向けて市民と共に取り組むということだが、29年度を意識し、安全弁が働いたような目標値もある。実施計画を策定し、見直しをかけながら、やっていくという説明があったので、きちんと進行管理を行っていただいて、努力して欲しい。

◆事務局

- ・ 将来像については、前段、説明したように議論をしている最中で、まちづくりの理念を踏まえて設定する予定です。
- ・ 将来像についての審議会での議論を紹介すると、「協働」の視点から、行政だけではなく、市民の皆さんとつくりあげていくような表現を入れること。次に、震災を乗り越え、将来に向けて前進するようなイメージ、また、白河市を連想させるような表現、白河らしさを表すキーワードを取り入れることなどがあげられます。
- ・ 市民、各団体への周知方法は、まず、ホームページと広報紙を活用して、市民の皆さんにお知らせしていくこと。計画冊子は、大変ボリュームがあるので、本日、説明した概要版をもう少しコンパクトにしたようなリーフレットを作成し、全戸配布をしたいと考えております。また、「出前講座」のメニューに加えて、ご要望いただければ、総合計画の概要について説明に伺いたいと考えています。

■地域づくり協議会（白河） 浅川委員

- ・ 内容が広範囲なので興味がある部分にしばって質問をしたい。
- ・ 人口が減っていくような推計だが、震災後の人口推移の状況は、どうなのか。
- ・ 基本計画の中で生涯学習の分野について、公民館を常に利用させていただいている立場から、中央公民館は、坂の上なので登るのが大変だという声もある。利用者は高齢者もあり、5年後には、また年を取る。施設は老朽化もしているので、改築の計画があるのかどうか。そのような予定を含めて、公民館入館者の目標値を定めているのかどうか。

◆事務局

- ・ 震災後の人口推移については、県内では約16万の方が避難をしています。市においても避難のため市外に転出した方もいます。現状、市の総人口は、63,500人程度です。
- ・ 指標にある公民館利用者数は、中央公民館を含めた大信、表郷、東の4つの公民館の合計値です。
- ・ 基本計画の中で、「生涯学習拠点の充実」を掲げて、計画的な改修・修繕に取り組むとの方針に基づき、進めていくこととなります。
- ・ 現状を説明すると、表郷公民館の改築を計画していますが、今後、どこの公民館をやっていくような計画については、お答えできませんので、担当部署には、本日のご意見を伝えたい

と考えますので、ご理解願います。

■地域づくり協議会（白河） 鈴木（邦彦）委員

- ・ 第1次総合計画の審議委員であった。計画完了を待たずに、見直したことは良いことだと思う。
- ・ 立派な計画だからこそ、実現しないのかというようにも思う。政権が変わって社会が急激に変化し、GDPもどうなるのか。計画が市のよりどころとなるようには思うが、実現するかどうか。
- ・ 総合計画の期間を見直してもいいのではないか。構想は10年でも良いが、基本計画を5年ではなく、3年ぐらいで策定しないと世の中の変化についていけないと思う。
- ・ もう少し、考えて事に当たって欲しい。

◆事務局

- ・ 劇的な変化に対応できないという御懸念については、実施計画を3年として、毎年見直しをかけて、その中で新たな課題が出た場合にも対応してまいりたいと考えています。
- ・ また、基本計画は、分野別の施策を体系的に整理しているので、縦割りのイメージですが、基本構想の36・37ページに、重点プランを打ち立て、重点的・横断的な取組みを推進する考えを示し、社会経済情勢の変化の中で特に緊急を要する課題についても、臨機に対応することで、計画を推進したいと思っております。

■地域づくり協議会（白河） 鈴木（邦彦）委員

- ・ 実施計画の策定することは理解できるが、基本計画についても短縮することが望まれる。計画推進については、「鳥の目」、「虫の目」ということで対応して欲しい。

◆事務局

- ・ ただ今のご意見を参考に、計画推進に努めてまいりますので、ご理解願います。

■表郷地域協議会 鈴木（茂男）委員

- ・ 大きな内容の計画なので事前に読ませてもらったが、目標値の設定というのは、何をベースにしているのか。根拠は何かという疑問を持っている。
- ・ 目標は希望的観測なのか。何に基づいて算出しているのか説明して欲しい。

◆事務局

- ・ 指標一つひとつでは説明しきれないので、全体的な考えとしては、国や県が示す目標値を準用しているもの。過去の実績、経年変化から、割合を出しているもの。個別の部門別計画の目標値を引用しているものもあります。
- ・ そもそも指標の名称から難しい、また、指標設定の意図や意味といった部分について、審議会からも指摘を受けているので、計画の中に参考資料として指標説明を盛り込む予定でおります。

■東地域協議会 本宮委員

- ・ 総合計画なので、総花的になるのは致し方ない。実行することが一番大事である。
- ・ やはり一番関心があるのは、実施計画なので市民への伝達の手法をどうするのか。個別地区ごとに説明するのは大変なので、「地域」であればいいのではないかとも思う。
- ・ 実施計画はいつ頃作成するのか。どのように攻めていくのか、白河市をどの方向に持っていくのか。どこに力を入れていくのかを示して欲しい。
- ・ 計画をローリングしていくとのことだが、取組みの結果を公表して欲しい。

◆事務局

- ・ 実施計画は、基本構想と基本計画を踏まえて、3月末までに作成し公表する予定です。
- ・ 重点戦略プランということで、力を入れていくものを明らかにしたいと思います。また、毎年、指標の達成状況を公表し、前年度の実績・反省と来年度の事業について明らかにできるようにしていきたい。
- ・ 周知・説明についても、前段、説明したような方法で対応していきたい。

■表郷地域協議会 鈴木（茂男）委員

- ・ 追加意見として、市民に分かりやすく、平易な表現で、専門用語を使わずに計画をつくって欲しい。

◆事務局

- ・ 難しい言葉には、用語解説を付けていきたいと考えています。ご意見を踏まえて、全体の表現を検証し、分かりやすいものとなるよう努力します。

■大信地域協議会 鈴木（清和）委員

- ・ 実質公債費比率を下げていくような指標である。限りなく「小さな政府」をめざしていくような考え方であるように思うが、一方で質の高い市民サービスを提供していくとある。相反するのではないか。
- ・ 協働の取り組みをしていくような考えもあるので、計画は、分かりやすく公表するのか大切である。

◆事務局

- ・ 「小さな政府」という考え方は大切ですが、震災を契機に、行政の守備範囲、市民活動など、見直された部分があると思います。財政の健全化と市民サービスを持続可能なものとするのが重要で両輪であると考えます。
- ・ 「協働による取り組み」を明示し、市民の皆さんと力を合わせて、計画の目標達成に向けて取り組んでいくこととしておりますので、総合計画の内容を周知し、進行管理の中で、目標達成の状況、事業の実績などの市の取組みについて、説明していきたいと考えています。